



いよいよ、夏休みが始まります。子どもたちは、やりたいことや楽しみなことで頭が一杯なのではないでしょうか。夏休みだからこそできることや取り組めることを探しながら、長期休みを計画的に、有意義に過ごすことができるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

夏休みの宿題

- ① 夏休みの出来事日記（パワーポイントのスライドかロイロノート）
夏休みで印象に残ったことや毎日の生活の仕方など、パワーポイントのスライドでまとめよう。カメラで写真をとって、画像を使ってもいいよ！ただし、友だちや知らない人の画像は使わないようにしよう。
- ② Eライブラリ
1 学期苦手だった単元や基本問題など、自分で考えて積極的に取り組もう。
※何もしないと、1 学期に学んだことを忘れてしまいます。毎日取り組めるといいですね。ただし、スクリーンタイムが多くならないように気をつけよう。
- ③ 自由研究
自分がやりたいことや知りたいことについて、じっくり探究しよう。
※まとめるものは何でもいいよ！
（例：自学ノート・レポート用紙・画用紙・も造紙・ロイロノート・Word など）
- ④ 選択課題 「理科作品、絵画、工作、習字、読書感想文」の中から2 点（別紙参照）
- ⑤ 林間・運動会に向けての体力づくり（腹筋、背筋、腕立伏せ、スクワット等）
- ⑥ 音楽「リコーダーを楽しもう」（自由課題）
ロイロノートに送られた楽ふを見て、リコーダーをふきながら音楽を楽しもう。
- ⑦ 自学ノート（自由課題）
計算ドリルや漢字ドリルの復習や教科ごとのまとめノートに取り組んでもいいよ。
- ⑧ お手伝い（毎日続けられることを見つけよう）
- ⑨ 2 学期に向けた準備
※絵の具セット・習字セットは、必ず夏休み中に一度、きれいに洗っておきましょう。

7・8 月の予定

- 7 月 30 日（水）ロイロノート健康チェック
- 7 月 31 日（木）林間学舎(トイレをすませて、8：00 までに登校)
～8 月 1 日（金）酔い止めの薬は、家で飲んでから学校に来ましょう。
欠席の場合は、sigfy または 7：30～7：45 にお電話ください。

TEL 072-992-0061

- 8 月 11 日（祝） 山の日
- 8 月 12 日（休） 振替休日
- 8 月 12 日（火） 学校閉校日
～15 日（金）

夏季休業中の学校閉校日について
8 月 12 日（火）～15 日（金）に、緊急・非常の事案が生じた場合は、八尾市教育委員会事務局 教育政策課（072-924-3877）に連絡していただきますようお願いいたします。必要に応じて、永畑小学校教職員に連絡されることになっています。

- 8 月 25 日（月） 始業式・大掃除
持ち物
・夏休みの宿題 ・筆記用具 ・連絡帳 ・上ぐつ
・ぞうきん 2 枚（上用、下用） ・体育館シューズ
11：40 下校

- 8 月 26 日（火） 地区児童会（集団下校）11:40 頃下校
- 8 月 27 日（水） 3 時間授業（11 時 40 分下校）
～29 日（金）

9 月の主な予定

- 1 日（月）給食開始
- 10 日（水）午前中授業（13 時 35 分下校）諸費振替日（25 日予備日）
- 4 日（木）委員会

夏休み中の注意

- 休み中に、お道具箱・筆箱・絵の具セット・習字道具の物を点検・掃除・整理を必ずしましょう。足りない絵の具チューブ、墨汁、色鉛筆など、必ずおうちの人に声をかけて、用意しましょう。
- 学校からの「夏休みのきまり」をよく読んで、安全にすごしてください。
- 生活リズムをくずさないよう、休み中も早寝早起きを心がけ、健康面に留意してください。
- 学校のタブレットは、おうちの人目の届く所に保管しましょう。こわさないように、大切に使おう。

夏休みの宿題について

今年の夏休みは、第5学年団ではドリル冊子の購入をしていません。文部科学省が作っている現在の学習指導要領の中では、子どもたちが自ら学びの方向性を決めて、自分で学びを進めていくことのできる能力の育成の重要性が謳^{うた}われています。また、一律の課題から、個に応じた課題の設定も求められています。

これらのことから、子どもたちが主体的に取り組める学習課題を多くしました。「ドリル学習をしないと、学習内容を忘れてしまうのでは。」というご心配の声もあるかと思います。ドリル学習の代わりに「E ライブラリ」に取り組んでいただくと、より定着が図れるかと思います。「E ライブラリ」とは、子どもたちのタブレットに入っています、学習支援アプリです。5年生の内容だけでなく、小学1年生から中学3年生の内容を取り扱っています。ですので、お子さんに合った様々な使用例があります。

○1学期の学習の定着に不安がある場合

1学期の国算社理の問題に取り組むことをお勧めします。まずは問題を解いて、理解度を測った上で、苦手な単元については、まとめを見て復習したり、その他の難易度の問題に挑戦したりしてみてください。

○今までの学年の問題でつまずいている場合

4年生までの学習は、5年生の学習の大前提と考えられています。5年生の内容が難しいなど思う場合は、4年生までの学習内容を復習されることをお勧めします。

○もっと先取りして学習を進めたい場合

5年生の2学期以降の学習内容や6年生、もしくは中学生の学習内容にもトライしていただくことをお勧めします。中学生の学習は、小学生の学習が土台となっています。

上記のように、しっかりとした意図をもって取り組めると、自分に合った学習プランを自分で作ることができます。自宅にプリンターがある場合は、プリント問題を印刷することもできます。また基本の反復が必要な場合は、計算ドリルもご使用ください。

私たちは、子どもたちに「こんなことをやってみたい」「この学習を深めたい」という気持ちを大事にしながら、自分がやりたい学びに取り組んでほしいと思っています。「子どもだけでできるかな」と心配なお気持ちもあるかと思いますが、まずはお子さんのやりたいことを見守っていただき、その上で必要があれば少しのご助言等いただけますと幸いです。

充実した学びができる夏休みなるよう、私たち学年団も願っております。